

課題検討会の開催について

1. 課題検討会の設置に至った意見

円山川流域委員会では各委員の情報(知識)の共有化を図ることを目指して、現地視察や現状説明を行い、今後の進め方等について委員会やヒアリングおよびアンケートを通じ、ご意見を伺ってきました。

その結果、

- ・委員会では、説明内容や審議項目が多すぎて討議の時間がとれない。
- ・自分の専門分野以外の初歩的な(基本的な)質問がしにくい場の雰囲気である。
- ・要項、規約に縛られた組織でない勉強会のような環境での議論が必要。

等のご意見がありました。

2. 委員会と課題検討会の位置付け

今後、「円山川のあるべき姿」や「円山川河川整備計画に関する議論」を行っていくには、更なる円山川の現状への理解や現行計画に関する知識の習得等が求められています。

そこで、各委員が建設的で効果的な発言ができるよう、円山川の現状の正確な認識と理解、諸課題の抽出と対策に関する議論の十分な準備作業を行う場として「課題検討会」を設けます。

課題検討会は、委員が勉強する場であり、物事を決める場ではありません。審議決定等は、これまでどおり委員会で行うこととし、必要に応じて補足的に課題検討会を開催し、今後の円山川流域委員会を進めてまいりたいと思います。

表3.1に委員会と課題検討会の位置付けをまとめました。

表3.1 会議の位置付け

会議の種類	内容	参加者	備考
委員会	各種の審議や決定が行われる会議	委員 河川管理者	一般傍聴可能
課題検討会	委員会での検討内容整理や課題への理解を行う作業準備的位置付けの会議	委員	検討内容を委員会にて報告